



おもい、おもわれ、おもてなし。



敦賀商工会議所会報

【発行】〒914-0063 福井県敦賀市神楽町2丁目1番4号 TEL 0770-22-2611 FAX 0770-24-1311 <http://www.tsuruga.or.jp> メール tcci_kaiin@tsuruga.or.jp
【編集】敦賀商工会議所 【定価】1部100円 【印刷】有限会社 創広 【発行日】2022年1月15日

2022
新春号

No.659



敦賀駅

鉄道と港のまち 敦賀

車両基地

写真提供：鉄道・運輸機構

新年のご挨拶



会頭 有馬 義一
敦賀海陸運輸株

地域経済の持続的な成長と
市内企業のレジリエンス

強化の実現を

新年あけましておめでとうございます。
令和四年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、国内で新型コロナウイルス感染症が初めて報告されてから二年が経とうとしています。市内における足元の業況は、経済活動回復への期待感から改善に転じているものの、資源価格高騰、円安等への懸念から力強い回復には至っておりません。

この間、活動に大きく制約を受けながらも経済活動の維持に奔走されておられる皆様には、深く敬意を表するとともに、商工会議所は、地域経済の持続的な成長と市内企業のレジリエンス強化の実現に向けて、力を尽くしてまいります。

先ず、北陸新幹線敦賀開業に向けての取り組みを加速度的に進めて参ります。

開業まで残すところ二年となり、高架橋、車両基地、駅西地区などのハード整備が進み、市内の景色も目に見えて変わってまいりました。

一方では、「おもてなし」「体験コンテンツ」「食・名物開発」「イベントづくり」などの官民連携による各種ソフト事業のプロジェクトも着々と進んでおりますが、今年はプロモーション活動を本格的に稼働させるべく、準備を進めております。これから市内外の皆様に、我々の活動が目に見えてくるのではないかと思います。

また、ポストコロナを見据えた地域経済の持続的な成長を支える基盤づくりを行います。コロナ禍で、社会全体のデジタル化が加速しました。また急速に進められるカーボンニュートラルに向けた脱炭素化対策など、時代はSDGsが示す十七のゴールに向かって突き進んでおり、我々地域企業においても真剣に向き合わなければなりません。

更には、原子力発電所の再稼働や新増設・リプレースの促進に関する働きかけに加えて、廃炉に伴うリサイクルビジネスの構築など、福井県が進める嶺南Eコースト計画と連動して目に見る成果にすること、地域経済活性化に弾みをつけたいと考えております。

今年は特に、これらの課題に対して市内企業がレジリエンスを発揮し、ビジネスチャンスに変えることができるよう、会員の皆様はじめ国や県・市および関係の皆様と一丸となり、発展に向けて猛虎（寅）の如く勇猛果敢に頑張ってください。申し上げる次第であります。

最後に、今年一年が、皆様にとって輝かしい年になりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。